

＜特別寄稿＞

正山征洋先生のご厚意で所蔵されている「ボタニカルアート」の一部を紹介していただく事になりました。大変貴重で興味深く、芸術性も高い作品に加え先生自ら解説されています。

ボタニカルアート

九州大学名誉教授・長崎国際大学名誉教授

正山征洋先生

第77回

モモ



Tom. II

Pl. XXIV

Pag. 214



モモ (*Prunus persica*) はバラ科に属する落葉中高木です。サクラが咲く前に花をつけ、夏に大きな果実を結びます。学名の *Prunus* はスモモの古名から、*persica* は *persicus* (ペルシャの) から命名されています。

美味しい果実には大いに関心が持たれますが、種子が薬用と言う事はあまり知られていないでしょう。種子は桃仁と呼び、漢方薬の桃核承気湯、桂枝茯苓丸、潤腸丸等に配合されます。桃仁は驅瘀血作用が強い生薬で、女性の生理痛や生理不順等を目的に服用される事が少なくありません。成分としてアミグダリン、トリテルペノイド類、ステロール類等を含んでいます。アミグダリンはシアン配糖体なので多くの桃仁を食べることは避けましょう。

本画はパリのセーヌ川沿いの古本屋で入手したことは記憶していますが、作者、制作年代共不詳です。